

明治大学文学部 2026 年度 社会人特別入学試験 臨床心理学専攻 解答例

(1) 共通点

解答のポイント

- ・アセスメントと診断はいずれも対象者の状態や特性を理解するための過程である。
- ・面接や観察、検査結果などの情報を収集・整理する点に共通性がある。
- ・今後の支援のあり方や治療方針を策定するための基礎となる。
- ・対象者の課題や困難を把握することを目的としている。

解答作成にあたって

両者は対象者の状態や特性を理解し、適切な支援や対応につなげるための営みであることを中心に説明することが求められます。

(2) 相違点

解答のポイント

- ・診断は、疾患や障害の有無・種類を医学的基準に基づいて判断することに重点が置かれる。
- ・アセスメントは、今後の心理支援に役立てるために、思考や行動の特徴、葛藤やコンプレックスなどの心的ダイナミクス、生活環境や人間関係などをも含め、対象者を総合的に理解することを目指す。
- ・アセスメントにおいては、症状や病理性だけではなく、対象者の内外に備わった健全な資源を評価することが重視される。

解答作成にあたって

医学的判断としての診断と、心理的支援のための包括的理解としてのアセスメントの違いを整理しながら論述することが求められます。